

7月24日(金)発行

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL今年はオンラインで
元気に発行中！

ほほ

日刊サマーミュージア ONLINE

Hobo Nikkan Summer Muza

想像をはるかに上回る
緻密でダイナミックな演奏

©青柳聡

【7/23 東京交響楽団オープニングコンサート】

今年も音楽ファン待望のサマーミュージアが始まった。新型コロナの影響で、出演者と曲目変更があり、入場者数も限定されるが、全17公演のライブ映像配信(有料)が行われるのはありがたい。

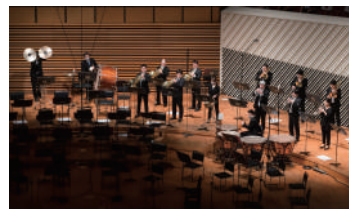
毎年、歓喜の広場で演奏される三澤慶「音楽のまちのファンファーレ」〜フェスタサマーミュージア KAWASAKIによせては、ステージに場所を移して指揮者なしで高らかに演奏された。続くストラヴィンスキー「ハ調の交響曲」も指揮者なしの演奏。変拍子が多い約30

分の難曲だが、コンサートマスター、グレブ・ニキティン以下楽員の自発的で集中力ある演奏により、音楽の構造が透けて見えるような完璧なアンサンブルが生まれていた。

休憩の間に、指揮台の場所に4台の大型モニターが設置され、うち1台は客席に向けられる。来日不可能となったノットが提案した、史上初と思われる録画指揮によるベートーヴェン「交響曲第3番《英雄》」がいよいよ始まる。東響は、リハーサル録音を聴いたノットから送られた

詳細な指示を理解することで、映像と演奏のタイミングが自然に合ってきたという。固唾をのんで見守る中始まった演奏は、ノットが目の前にいるのではないかと思えるほど、映像と東響の息が合い、想像をはるかに上回る緻密でダイナミックな演奏が展開された。終わって楽員が大きな拍手に包まれる中、スイスの自宅で配信を見ていたノットが手を振る姿が突然画面に映し出され、会場は大いに盛り上がった。

(長谷川京介/音楽評論家)



おなじみのファンファーレはホールで演奏された

来場者の声

ホールで聴くファンファーレが響きが良くて最高。開催できて良かったという思いと重なって目がウルウル。(50代・会社員・まぐろ) 東響はさすがですね。前半の指揮なしでの演奏も見事でした。リモートでのノット氏が画面から出てきそうなほどの東響との一体感が伝わった演奏だ。配信でしたが、ミュージアで聴いた気分になりました。(50代・主婦・みっぽ) 思えば去年も(一昨年も?)、会期中、何度かゲリラ豪雨への警戒が呼びかけられる中での開催だった。今年もこの困難を乗り越え、無事に全公演終了してほしい。(60代・再雇用社員・SonicMan) 数ヶ月ぶりのミュージアで、生の音を耳で、肌で感じるこの偉大さを味わうことができる幸せを噛みしめた2時間でした。ノット監督のバイタリティと、それにしっかり付き従う東響メンバーとのザイルのような太い絆が見えた気が、定員よりずっと少なかったはずなのに、まるで大入り満員かのように感じる拍手の大きさが、オーディエンスの気持ちを表していたと思います。(会社員・ぜぶら)

今年のサマーミュージアは生音+生配信!

ホール座席券・
オンラインチケットは
こちらから←

アーカイブ配信は8/31日まで視聴できます

#サマーミュージア で投稿してください!
Twitter : @summer_muza
Facebook : @kawasaki.sym.hall
Instagram : @muzakawasaki

パートナーショップのご紹介

エンジョイ!
川崎!!

Enjoy Kawasaki



夏らしく、そしてやさしい味わい

コロナ、長雨、暑さ、いろいろなことに疲れ気味な胃腸にもやさしいランチを求めてアトレ川崎7Fの「安全・安心・健康さんる一む」へ。かつお、とろろ、鶏むね肉の唐揚げがそろった夏のおすすめ御膳「かつおづけとろろ丼と塩麹唐揚げみぞれ御膳」1,280円(税別)はまさに鉄分とたんぱく質!みょうがや大葉などの薬味もたっぷりです夏らしい味わいでした。

川崎駅周辺には多くの飲食店が立ち並び、どこに行こうか決められない優柔不断派&方向音痴にとっては、駅ビル内の「安心」して行け

るお店です。次回は自然食のデザートも食べてみたい!(佐)

自然食レストラン
安全・安心・健康さんる一む

アトレ川崎7F

パートナーショップ特典
ワンドリンクサービス

今年の優待サービスは
スマホからクーポンを
提示するだけ!
ショップへは
←こちらから